



入門課程終了

皆勤賞を獲得

9月26日に第68期太極拳講習会の修了式を行いました。楽しい教室の雰囲気誘われて、数々の誘惑を振り切り、今期はなんと7名も皆勤賞を獲得しました。そして、新入生2名が見事、入門課程を修了しました。

第68回太極拳講習会の修了式 皆勤賞7名・新入生2名も入門課程終了

修了式の後には、みんなで感想を語り合いました。少しやせた、多くの仲間から元気をもらった、体調がいい、一生続ける！、上達したいが練習時間が無い、などなどの感想が出ました。10月には大芦高原で温泉付の1泊練習会も予定しています。これからも、ますます元気に楽しく技を磨きたいと思えます。10月3日から第69期が始まっていますので、興味のある方はぜひ気軽に見に来てください。表町のさんかく岡山で水曜日の6時からやっています。

岡山支部 青木正美

太極拳 1日無料講習会
 と き：10月3日(水) 午後6時～8時
 会 場：さんかく岡山(会議室)
 所在地：岡山市表町三丁目14-1-201号
 (アークスクエア表町2階)
 服 装：体操着等の動きやすいもの・運動靴
 主 催：日中友好協会岡山支部
 お問い合わせ：電話(086)942-7508(岡田)
 090-3633-5714(青木)

日中
あかやま
題字 萩原田 親
No. 521
2007/10/5
日中友好協会
岡山支部
〒704-8255
岡山市浜3-8-30-514
TEL:086-272-3010
郵便振替口座
01250-0-3435
http://rizhong.jp/
index.html

映画「日本の青空」上映会



10月20日(土)
 岡山県衛生会館三木記念ホール
 3回上映
 ・午前の部 9:30開場
 10:00～12:00
 ・午後の部 13:00開場
 13:30～15:30
 ・夜の部 18:00開場
 18:30～20:30
 「映画協力券」
 ・一般 前売金1000円 当日券1300円
 ・学生(中学生～大学生)
 ・前売券 800円 当日券 1000円
 販売目標1500枚



表彰式後の表演風景



中国語講座旭公民館入門クラス1 受講風景

日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
〒101-8265 東京都千代田区
有明1-1-1 東京有明ビル5階

中国語講座第12期受講生募集!

(’07年10月～’08年4月)
 《無料体験講座が10月第1週 参加体験して受講クラスをお決めください》

クラス	開講曜日	時間	会場	講師
入門クラス	火曜日	18:30～20:30	岡輝公民館	南蓮
入門クラス	木曜日	18:30～20:30	旭公民館	南蓮
初級(昼間)	火曜日	13:30～15:30	旭公民館	南蓮
初級	金曜日	18:30～20:30	岡輝公民館	南蓮
初級I	木曜日	18:30～20:30	旭公民館	郭志華
初級II	金曜日	18:30～20:30	旭公民館	郭志華
中級	金曜日	18:30～20:30	大元公民館	劉菁
上級	金曜日	18:30～20:30	大元公民館	陳新妍
研究クラス	木曜日	18:30～20:30	大元公民館	何曉麗

○ 講師は全て中国人講師です。
 ○ 見学はご自由に～。しかし準備の都合上 事前にご連絡ください
 受講料は月額:3500円,高校生以下:2000円、日中の正会員:3000円です。
 3ヵ月ごとの前納です。入会金など不要です。
 *テキスト代金は、別途各自の負担になります。
 * 連絡をくだされば、受講案内をお送りします。
 お問い合わせ先: 日中・岡山中国語委員会
 日中友好協会岡山支部内(岡山市浜3-8-30-514)
 電話086-272-3010
 《E・メール》rizhong86@hotmail.co.jp/ 《E・メール》rizhonghanyu@hotmail.co.jp

二〇〇七年第41回
 岡山県母親大会
 10月28日(日)
 岡山衛生会館
 (三木記念ホール)
 ☆ 分科会 10時～12時
 全大会 13時～16時
 ☆ 記念講演 憲法が変わると子どもたちはどうなるの?」
 講師・大内 裕和さん
 (松山大学人文学部教授)
 ☆ 資料代…700円



中国語講座大元公民館研究クラス

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
 メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

現代中国の教育事情

7

山陽学園大学教授 班 偉

大学受験の悲喜劇

一生懸命勉強する目的は、要するに大学受験です。大学受験について、中国と日本で異なる事情はまだいろいろあります。中国では、昔から「孟母三遷」とか「螢雪の功」とか言いますが、これは大体日本と中国に共通することわざで、同じ儒教の国ですから、立身出世という価値観もよく似ています。苦しい家計をやりくりしてでも、自分の子どもにはいい教育を受けさせたいという親心も同じですね。

中国の大学受験の過熱ぶりは、社会事情の反映であるともいえます。中国社会は、いまだに典型的な「官尊民卑」の社会であり、かつて福沢諭吉もこの種の身分制について『西洋事情』の中で最も批判を込めて書いています。今の中国では党幹部と庶民の社会的な地位の格差が非常に大きい。もちろん、経済的格差もありますし、先ほど説明したように、都市部の住民と農民の身分の差も歴然としています。

特に農村部あるいは庶民の子どもにとつては、自分や家族の身分を変えるためのチャンスといえば、大学受験「なんです。大学に合格さえすれば、公務員として堂々と世に出ることができますし、都市の戸籍にもなります。

昔は兵隊に行く道もあったのですが、今は軍隊へ行くのも大体2、3年の兵役を終えた後、また田舎に戻らざるを得ません。軍隊へ行くのも出世の道は閉ざされているので、頭がいい人は大学受験を目指しますが、勉強が嫌いな人は出稼ぎに行くしかありません。

こうした厳しい社会事情がありますから、中国では大学受験といえ、文字通りの「登竜門」となるわけです。

文革が終結した後、中国政府が最初に取り組んだ事業といえ、大学入試の再開でした。

あの頃、片田舎でいやいやながら、1年ほど不慣れた農作業をしてるところに、ある日突然、大学入試制度が復活されたというニュースを耳にしたのをきっかけに、私はあちこちにぼろの教科書を借り集めて受験勉強を始めました。

つらい野良仕事が終わった後、夜中にランプの明かりで勉強したので、昔、電気がない時代、貧しい生活の中でランプの油ももったいない、いやランプの油を買いお金すら持っていない男は、袋にホタルを集め、その蛍の光で受験勉強し、見事に科挙試験に合格したという話から、螢雪の功「ということわざが生まれました。

私の場合、まだホタルを集めた経験はありませんので、「螢雪」というのにはちよつと大げさですが、一応ランプの明かりの下で勉強をしたという経験は持っています。

その時、人民公社の幹部から、班君、ランプの油がもったいない！お前は百姓じやろう、百姓には学問なんか要らん。早く寝なさい。明日もまた仕事早いから」と叱られて悔しい思いもし、腹も立ちました。

このような環境の中で、文革直後の中国人は大学受験をしたのです。

第九回日本語教室

講師団会議開く

九月十二日、長岡集会所で第九回日本語教室講師団会議が開かれ、六名の講師が参加しました。井上代表のあいさつ後、六・七八月の出席状況をともに、各講師が担当受講者の現状について報告しました。出席のよい高杉さんの上達ぶりが、話題になりました。

九・十月の日程を確認し、日本語教室開講3周年記念のつどいを、次のように決めました。

- ◎ 日時 十一月五日(日) 9時30分～12時30分
- ◎ 場所 長岡県宮住宅集会所
- ◎ 内容 日本語での発表会、歌、ゲームなど、

続いて、県下三地区(岡山・倉敷・総社)で開かれている日本語教室の全体的な組織を結成する必要性について話し合い、小生を窓口準備を進めることにしました。

最後に、日中カレンダーを百部販売すること、第十回会議を十月三日(水)に開くことを決めて終了しました。 小林軍治

開拓団跡地を訪ねる 日中友好の旅 ④ 夫の写真を胸に (2) 朝倉彰子

関東軍虐殺の跡地に

今回の旅のもう一つの目的、それは日本が中国でしてきたことを自分の目で確かめることでした。

1932年、撫順の平頂山村の村民約3000人を、日本の関東軍が虐殺したという話を私が知ったのは10年ほどまえのこと。

跡地に遺骨や遺品が納められている平頂山殉難同胞遺骨館が建てられています。残念ながら改装中だったため、見学することができませんでした。

撫順は炭鉱の町。千金牧場のあった場所近くにも露天掘りを見ることができました。1905年、日露戦争締結後による、ポーツマス条約で日本が手に入れた利権で翌年南満州鉄道会社を設立し、撫順での露天掘りなどの操業をはじめました。

そして日本の敗戦まで日本は中国の富を横取りしていたことになりました。



撫順戦犯管理所

す。

私たちが住んでいた撫順の町の地図を見せていただいたとき、この街は「日本」という字に作られています」と教えられました。本当にそのとおり、「日本」という字に形どられた町の通りは当時のまま残っていました。

2008年 カレンダー

定価1200円

「中国悠久の旅」

販売始まる

日中不再戦の誓いを新たに

撫順戦犯管理所で、日本の戦犯の教育と改造の記録を見たとき、日本人として中国人の人たちに対する申し訳ない気持ちと、中国人の寛大な政策と人道主義に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この旅でお世話になったガイドの方々はじめ中国人の人たちは友好的で親切な方たちばかりでした。

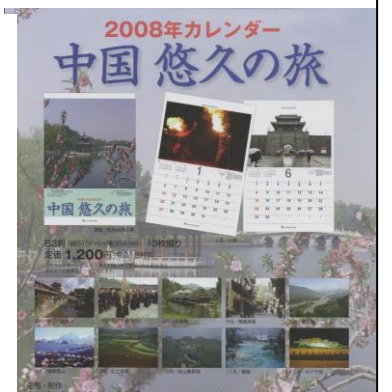
この旅で私が得ることのできたもの、言葉で十分に表わすことはできません。私が住んでいた街、その場所



2列目の左から2番目、朝倉さん

カレンダー購入申し込み先

- ☆ 日中友好協会 岡山支部 電・Fax 086-272-3010(竹内和夫方)
- ☆ 日中友好協会 倉敷支部 電・Fax 086-446-2711(宮地義男方)
- ☆ 総社日本語教室 事務局 電・Fax 0866-99-2560(西森文子方)
- ☆ 中国「残留孤児」訴訟を支える岡山県民の会 電・Fax 086-277-2470(小林軍治方)



に立つことができたことの喜びとともに、日本の中国に対する侵略の事実を自分の目で確認できたこと、開拓団の人たちははじめ多くの日本人が体験した苦難をさらに深く知ることができたこと、そして二度と国に侵略、戦争をさせてはならないという思い……

この旅を計画し、お世話をしてくださった方、ともに旅した仲間の方々に感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。 おわり

次回の新聞送付作業は10月12日(金)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 竹内和 竹内袈 坪井